ORACLE
FUSION MIDDLEWARE
WEBCENTER

ORACLE WEBCENTER PORTAL

コンテンツが豊富なセルフサービス・ポータルを直感的なツールで構成できる、ソーシャル・サービスとコラボレーション・サービスが統合された最新のエンタープライズ・ポータル

おもな機能

- エンタープライズ・クラスのセルフサービス・ポータル向けプラットフォーム
- タブレット優先の UI が標準設定された最新のレスポンシブ・デザイン
- 複合アプリケーションの開発に対応した強力なフレームワーク
- ビジネス・ユーザーがブラウザでポータルを作成できる直感的なツール
- ベスト・オブ・ブリードのエンタープライズ・コンテンツ管理機能
- ブラウザでのポータル・ライフ・サイクル管理
- 柔軟なデプロイメント・モデルによるハイブリッド・クラウド・ソリューション

おもな利点

- 機能が豊富でパーソナライズされたコラボレーティブ環境で、従業員、顧客、パートナーがコンテキストに合った情報を入手できる最新のユーザー・エクスペリエンスを実現することにより、ビジネス生産性を向上
- 再利用可能なコンポーネントが豊富に含まれるライブラリを搭載した包括的で柔軟なユーザー・エクスペリエンス・プラットフォームを開発者に提供することにより、開発期間を短縮
- Oracle Applications（Oracle E-Business Suite、Siebel、PeopleSoft、JD Edwards など）やサードパーティ製アプリケーション（SAP、Salesforce など）を Oracle Fusion Middleware にシームレスに統合することにより、ビジネスの機敏性を向上

デジタル・ビジネスにとっての課題は、一貫性のある統一されたエクスペリエンスを複数の配信チャネルを通じて利用者に提供することです。顧客と企業のインタラクションは、顧客が製品を発見するところから始まります。次に顧客は製品やサービスについてさらに詳しい情報を入手し、製品の購入を決定し、直接またはセルフサービスでサポートを受けるという行程が続きます。顧客やパートナーは、パーソナライズされたセキュアで魅力的な最新のオムニチャネル・エクスペリエンスがこうしたインタラクションの全行程を通じて提供されることを期待しています。このような一連の行程をサポートするには、顧客に関する知識、バックエンド・システムとビジネス・プロセスの統合、IT 部門のサポートなしでビジネス・ユーザーが顧客インタラクションを管理できるツールが必要です。

Oracle WebCenter Portal は完全かつオープンな統合エンタープライズ・ポータルです。この製品を活用することにより、動的でパーソナライズされた最新のユーザー・エクスペリエンスを組み込み、ビジネス・プロセスと複合アプリケーションを統合し、厳しいセキュリティ機能を付加した社内向けまたは社外向けのオムニチャネル・ソリューションを提供できます。これにより、トランザクション方式のセルフサービスやエンタープライズ・コンテンツ管理機能、ビジネス・ユーザーの参加を促しコラボレーションを可能にするコミュニティを実現できます。Oracle WebCenter Portal はアプリケーションと人とコンテンツとを最適な形で結びつけ、ビジネス・プロセスに即してパーソナライズされた情報をビジネス・ユーザーがナビゲート、発見、アクセスできるようにするソリューションです。

主要なポータル製品や関連テクノロジーが豊富に揃ったポートフォリオから採り入れた最高の機能をベースに構築される Oracle WebCenter Portal は、Oracle Fusion Middleware や Oracle SaaS および Oracle PaaS のサービスを使用するハイブリッド・クラウド・ソリューションに次世代のユーザー・エクスペリエンスを提供する基盤です。

最新のレスポンシブなユーザー・エクスペリエンス

Oracle WebCenter Portal を使用すると、オンプレミスまたはクラウド内のエンタープライズ・アプリケーションとシームレスに統合されたエンタープライズ・ポータル・ソリューションに、直感的でレスポンシブかつモバイルフレンドリーなユーザー・エクスペリエンスを採り入れることができます。Oracle WebCenter Portal では、ビジネス・ユーザー向け UI として、タブレット優先のレスポンシブ UI が標準設定で組み込まれています。

ORACLE

関連製品とコア・コンポーネント

Oracle WebCenterは従業員、顧客、パートナーのために比類のないエクスペリエンスを提供する、ビジネスのためのエンゲージメントの中核を成すものです。人、プロセス、情報を、ポータル、Web エクスペリエンス管理、コンテンツ管理、コラボレーション技術といったもっとも完全なポートフォリオにオンプレミスおよびクラウド内で結びつけます。

Oracle WebCenterと Oracle BPM のポートフォリオには以下が含まれます。一元化されたリポジトリ、ポリシーの施行、およびキー・パフォーマンス・インディケータの追跡により、ビジネス価値の構築と成功の実現に必要な基盤を利用します。

- Oracle WebCenter Content
- Oracle WebCenter Portal
- Oracle WebCenter Sites
- Oracle BPM Suite

関連製品

Oracle WebCenter Portal は OracleWebCenter ファミリーの中心機能の１つであり、以下のオラクル製品と組み合わせて使用できます。

- Oracle WebCenter
- Oracle WebCenter Sites
- Oracle WebCenter Content
- Oracle Fusion Middleware - Oracle WebLogic Server
- Oracle Identity Management
- Oracle Service-Oriented Architecture（Oracle SOA）
- Oracle Business Process Management（Oracle BPM）
- Oracle Business Intelligence
- Oracle Secure Enterprise Search
- Oracle Applications
- Oracle Fusion Applications
- Oracle JDeveloper
- Oracle Application Development Framework（Oracle ADF）

Oracle WebCenter Portal では、モバイル Web ソリューション向けレスポンシブ UI デザインと特定のモバイル機器群をターゲットにしたアダプティブ・ページを組み合わせることができるため、この独自プラットフォームを活用すれば、Bootstrap テーマ機能やネイティブ・デバイス機能、さらにはレスポンシブ UI デザインを採り入れたさまざまな OOTB コンポーネントも利用する、オムニチャネル・ソリューションを提供することができます。

動的で魅力的なポータルを迅速に作成

Oracle WebCenter Portal では、イントラネットまたはエクストラネット向けの動的なエンタープライズ・ポータルを容易に作成できます。Oracle WebCenter Portal を使用すれば、チームや組織用の作業環境が用意されたビジネス・コミュニティを構築し、この環境を活用して人々の関与を促し、パーソナライズされたダッシュボードを介して人と人とを結びつけることができます。

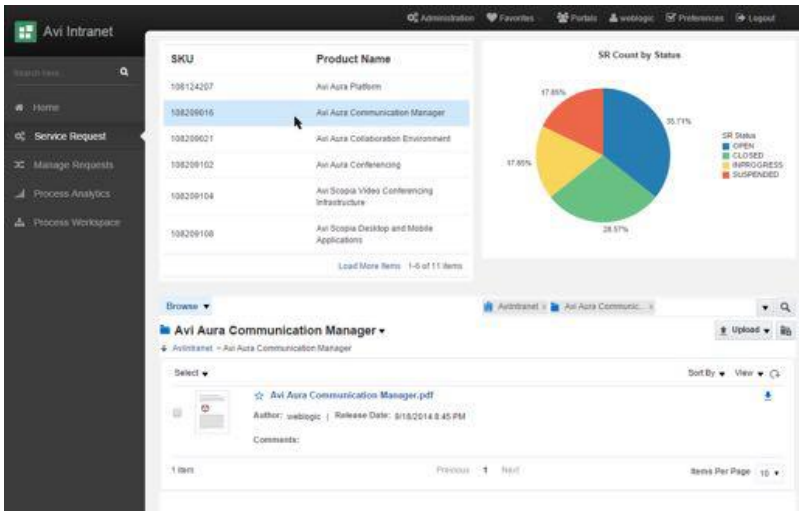
次世代のポータル・コンポーザを使用すると、豊富な選択肢の中から WYSIWYG 方式でページ・スタイルやページ・レイアウトを選択し、各種コンポーネントを画面上で結合してコンテキストに即したダッシュボードを作成するというやり方で、このようなコミュニティやページを迅速に構築できます。また、ページ・ドラフト機能があるため、ページを一般公開する前にページ・コンテンツの統制を図ることができます。

複合アプリケーションとデータ・マッシュアップを簡単に構築

Oracle WebCenter Portal では、共通のユーザー・エクスペリエンス・アーキテクチャを使用して簡単に複合アプリケーションを構築できます。このアーキテクチャは Oracle Middleware のすべてのユーザー・インタフェースと Oracle SaaS アプリケーションに共通の開発フレームワークである Oracle Application Development Framework（Oracle ADF）をベースにしたもので、次世代のユー

ザー・エクスペリエンスを開発するためのベスト・プラクティスと設計パターンが組み込まれています。そのため、再利用可能な標準ベースのコンポーネントを使用して既存の Oracle アプリケーションや Oracle SaaS アプリケーションを容易に拡張できます。

Oracle WebCenter Portal を使用すると、Oracle BPM や Oracle BI、または他の Oracle アプリケーション向けに作られた標準ベースのカスタム・コンポーネントや OOTB コンポーネントを、画面上で集計したり結合したりできます。コンポーネントを構築したり Oracle WebCenter Portal にアプリケーション・データを統合したりするときに使用できる方法は幅広く、IDE を使用してこれまでと同じようにコンポーネントを開発することも、REST API または SQL データ・ソースを利用する読取り/書込みデータ・ビジュアルをブラウザベースのウィザードで構成することもできます。

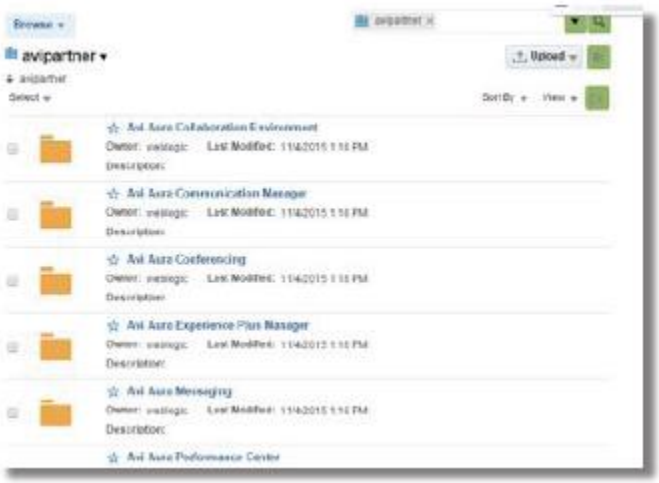


完全なエンタープライズ・コンテンツ管理機能

Oracle WebCenter Portal では Oracle WebCenter Content のエンタープライズ・コンテンツ管理機能を使用しますが、この機能では構造化コンテンツも非構造化コンテンツもすべてが 1 つのリポジトリに格納されるため、コンテンツのライフ・サイクル全体の把握と管理が可能です。WebCenter Content の UI が、再利用可能なコンポーネントとして WebCenter Portal で使用できるようになったため、Oracle WebCenter Portal でも Oracle WebCenter Content を使用する場合とまったく同じ方法でコンテンツを操作したりさまざまなコンテンツ管理機能を使用したりできます。

Oracle WebCenter Portal のコンテンツ・マネージャの UI はすっきりとしていて反応が速く直感的であるため、コンテンツの検索、コンテンツ情報の表示、コンテンツに対する同僚とのコラボレーションを容易に実行できます。新しいコンテンツ・マネージャの特長は次のとおりです。

- チェックイン、チェックアウト、ダウンロード、お気に入り、リンクの取得、プロパティの表示、類似ドキュメントのアップロードなど、特に頻繁に使用する操作にワンクリックでアクセスできる
- 特定のフォルダにコンテンツ・マネージャを固定できる
- 画面上で結合操作を実行すると、ページ上の他のコンポーネントとコンテキストを共有できる
- WebCenter Portal 内のコンテンツのさまざまなレンディションを表示できる
- Oracle WebCenter Content の Mobile アプリケーション、WebDAV および Desktop Integration ツールにアクセスし、充実した環境でコンテンツ編集ができる
- Oracle WebCenter Content に追加されているため、WebCenter Portal の新しいコンテンツ管理機能を使用できる



Oracle WebCenter Portal には、ポータル・ページに公開されたコンテンツの管理に使用できるさまざまなツールが揃っています。コンテンツ・プレゼンタは、ポータル内でのプレゼンテーション・フォーマットの一貫性を維持するためにあらかじめ定義したテンプレートを使用してコンテンツを公開できるツールです。非定型コンテンツを投稿する場合は、リッチ・テキスト・コンポーネントまたはイメージ・コンポーネントをページに配置し、必要であれば、多言語で、またはポータル・コンテンツ・リポジトリに含まれるイメージを使用して、コンテンツのインライン投稿を開始できます。ページ・ドラフトは、非定型コンテンツの投稿にエンタープライズ制御を組み込む機能です。ページはページ・スタイルとして保存できるため、他のポータル・ユーザーは同じコンポーネント・レイアウトの新しいページを迅速に作成し、すぐにコンテンツの投稿を始めることができます。

生産性向上とポータル・プロジェクトの ROI 増加に寄与するツール

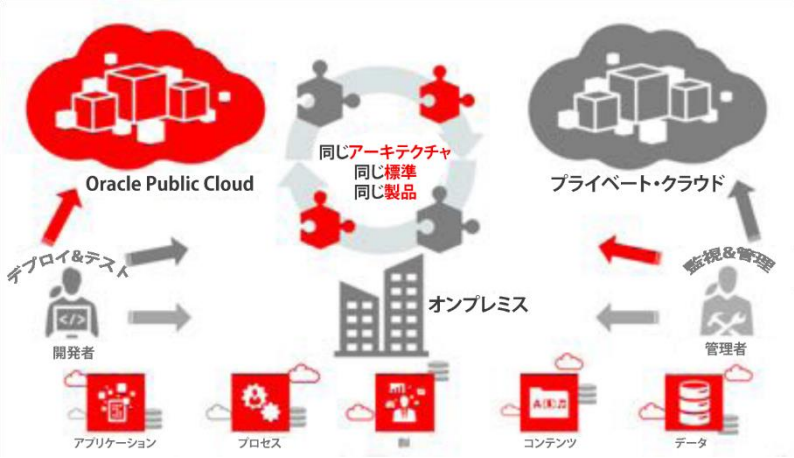
Oracle WebCenter Portal には、組織に属するすべてのポータル・ユーザーの生産性を向上させるツールが用意されているため、ポータル・プロジェクトへの投資を短期間で回収できます。

ビジネス・ユーザーとしては、WYSIWYG 方式での編集作業が可能な新世代のポータル・コンポーザを使用できるというメリットがあります。そのため、新しいポータルの作成や既存のポータルの拡張を IT 部門のサポートなしで簡単に実現できます。Oracle WebCenter Portal では、ビジネス・ユーザーがブラウザベースのツールを使用して新しいデータ・ビジュアルを作成し、それらをまとめてビジネス・ダッシュボードに組み込んだり、標準設定のまま使用できるソーシャル・コンポーネントを使用して顧客、従業員、パートナーをビジネス・データやビジネス・プロセスに沿った形で非定型のコラボレーションに参加させたりできます。

開発者は Oracle Application Development Framework（Oracle ADF）を利用できるため、設計時カスタマイズと実行時カスタマイズを組み合わせ、パーソナライズされたセキュアなソリューションを提供するためのカスタム・コンポーネントを容易に構築できます。カスタム・コンポーネントはポータルのコンポーザ・リソース・カタログに表示されるため、ビジネス・ユーザーはコンポーザでページにドラッグ・アンド・ドロップするだけでコンポーネントを使用できます。Oracle WebCenter Portal では、稼働中の Portal Server に IDE から直接アセットを公開できるため、反復的な開発が容易になり、開発ライフ・サイクルの簡素化にもつながります。

委任管理により、大規模な組織でも Oracle WebCenter Portal デプロイメントの管理と情報へのアクセス制御が容易です。ポータルのライフ・サイクル管理ができるブラウザベースのツールがあるため、管理者はすべての依存性を維持したまま、ステージング・サーバーから本番サーバーへといったポータルのサーバー間伝播を実行できます。伝播されるものには、コンテンツ・リポジトリに含まれるファイルとカスタム・コンポーネントも含まれます。伝播の履歴と詳細な監査証跡の両方に、ポータルの UI からアクセスできます。

システム管理者のメリットとしては、Jump Start Kit と Auto-Deploy ツールを使用して Oracle WebCenter Portal を迅速にプロビジョニングできることがあげられます。ポータルのプロビジョニングが完了したら、WebCenter プラグインを使用して Oracle Enterprise Manager Cloud Control からさまざまなメトリックにアクセスし、パフォーマンスの監視やチューニングを実行できます。



Oracle WebCenter Portal の Lift & Shift 機能を使用すると、自社のポータル環境をオンプレミスからパブリック・クラウドへ高速移行するなど、Oracle Java Cloud Service を有効活用できます。Oracle WebCenter Portal を Oracle Public Cloud で実行すれば、インフラストラクチャ・コストの削減や柔軟なソリューション活用が実現します。

統合されたオープンなユーザー・エクスペリエンスによる既存投資の活用

Oracle WebCenter Portal のユーザー・エクスペリエンスは完全かつオープンで統合されているため、既存投資を活用できます。Oracle

WebCenter Portal が完全であるというのは、ポータル向けの包括的なユーザー・エクスペリエンスと複合アプリケーションが用意され、コラボレーション機能とコンテンツ管理が統合されているという意味です。Oracle WebCenter Portal がオープンであるというのは、既存リソースの再利用を促進し、既存システムの価値を高めるために必要な標準ベースのサポートを提供しているという意味です。Oracle WebCenter Portal が統合型であるというのは、Oracle Applications や Oracle SaaS アプリケーションや他のエンタープライズ・アプリケーションと暗黙的に統合されているという意味です。

個人、チーム、企業の生産性を新たなレベルまで引き上げるには、ユーザーが作業環境から直接業務を遂行するために必要なツールを提供する必要があります。Oracle WebCenter Portal には直感的ながらも強力なツールが用意されているため、ユーザーを魅了してビジネスの生産性を向上させることができます。

お問い合わせ先

Oracle WebCenter Portal について、詳しくは http://www.oracle.com/jp/middleware/webcenter/portal/overview/index.html を参照するか、+1.800.ORACLE1 でオラクルの担当者にお問い合わせください。

Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment

Copyright © 2015, Oracle and/or its affiliates.All rights reserved.

本文書は情報提供のみを目的として提供されており、記載内容は予告なく変更されることがあります。本文書は一切間違いがないことを保証するものではなく、さらに、口述による明示または法律による黙示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての黙示的な保証を含み、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。オラクル社は本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクル社の書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。
Oracle および Java は Oracle およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。
Intel および Intel Xeon は Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標はライセンスに基づいて使用される SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴおよび AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。0113

Hardware and Software, Engineered to Work Together